

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：交通安全対策推進費

事業名 【新】高齢者等自転車利用者ヘルメット着用・保険加入推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

県民生活課 交通安全・コミュニティ係 電話番号：058-272-1111(内3014)

E-mail：c11261@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,000 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,000	0	0	0	0	0	0	0	1,000
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

・県では令和4年4月に「岐阜県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を施行(10月全面施行)し、自転車ヘルメットの着用を努力義務・保険加入を義務として、市町村、高校、関係団体等と協力し、広報啓発を実施しているが、自転車ヘルメットの着用率は直近の調査(令和5年9月)では、28.2%(県と県警による調査結果)と低いのが現状。

・このことから、自転車ヘルメット着用の重要性を周知し、着用率を向上させるため、より効果的な教育や啓発を実施する必要がある。

(2) 事業内容

自転車ヘルメット着用推進事業

県内の企業・団体等(6団体60人が上限)に対し、自転車ヘルメット等啓発物品を配布し、広報啓発や研修会等を実施した上で、県、交通安全関係団体、大学教授、参加企業・団体等と検討会を実施する。また併せて自転車保険加入促進についても周知啓発を図る。

【対象条件等】

・当課が行っている自転車安全運転体験出前講座を受講していただいた企業・団体等で希望のある方

・ヘルメット等啓発物品配布数：1企業・1団体等につき10個(上限)

(3) 県負担・補助率の考え方

第11次岐阜県交通安全計画に基づく事業であり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	26	講師報酬
旅費	52	講師旅費、職員旅費
需用費	770	消耗品費、会議費
役務費	132	通信運搬費
使用料及び賃貸料	20	会場使用料
合計	1,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

【「清流の国ぎふ」創生総合戦略】2 健やかで安らかな地域づくり

(2) 安らかに暮らせる地域 ⑤犯罪・交通事故防止の推進

【第11次岐阜県交通安全計画】2交通安全思想の普及徹底 (3)交通安全に関する普及啓発活動の推進体系的な交通安全教育の推進 ウ自転車安全利用の推進

(2) 国・他県の状況

- ・高齢者ヘルメット着用促進モニター事業（愛知県）
- ・自転車用ヘルメット着用推進協力企業制度（鳥取県）

(3) 後年度の財政負担

自転車ヘルメット着用率状況等を見ながら、事業内容について検討していく。

(4) 事業主体及びその妥当性

自転車ヘルメット着用・保険加入の重要性について、県民の方に理解してもらうことは重要であり、地域一体となり広報啓発等を行うことは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

自転車の安全で適正な利用を促し事故防止を図るとともに、県民が自転車の安全利用の重要性を理解し、自転車ヘルメットの着用が当たり前となる社会を作るため各種事業を進める。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R4)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①ヘルメット着用率	19.8	23.8	27	31	40	60%
②						

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p>
令和 3 年度	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)
3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない

(評価)

- 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)
3:期待以上の成果あり
2:期待どおりの成果あり
1:期待どおりの成果が得られていない
0:ほとんど成果が得られていない

(評価)

- 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)
2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている

(評価)

(今後の課題)

- 事業が直面する課題や改善が必要な事項
自転車ヘルメット着用の重要性について周知啓発をしていく

(次年度の方向性)

- 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
自転車ヘルメット着用率がどれだけ向上しているかを見ながら、検討を重ねる必要がある。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課

【〇〇課】

組み合わせて実施する理由
や期待する効果 など